

# 2025年度 事業報告書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

特定非営利活動法人 放課後遊ぼう会

## 1 遊び場づくり事業

(1) 宝塚市の6市立小学校において、放課後の遊び場を次のとおり開催しました。

※( )内は2024年度の数値

事業名	開催小学校名	開催回数	参加者数(人)					平均参加者数(人)	児童数(人)	児童数当たりの参加者の割合(%)
			幼児	小学生	中高生	その他	合計			
宝塚市放課後子ども教室	仁川㊦	200 (196)	105 (195)	10,206 (10,501)	6 (10)	124 (164)	10,441 (10,870)	52.2 (55.5)	621 (638)	8.4 (8.7)
	末成	120 (117)	198 (116)	3,683 (3,763)	5 (1)	214 (112)	4,100 (3,992)	34.2 (34.1)	392 (374)	8.7 (9.1)
	光明	63 (60)	82 (41)	3,696 (2,785)	2 (2)	81 (44)	3,861 (2,872)	61 (48)	178 (176)	34 (27)
	良元	60 (60)	49 (25)	2,386 (2,941)	1 (0)	32 (31)	2,468 (2,997)	41 (50)	341 (331)	12 (15)
	逆瀬台	37 (32)	29 (2)	2,017 (1,604)	0 (0)	19 (3)	2,065 (1,609)	56 (50)	250 (244)	22 (21)
	宝塚	23 (15)	8 (6)	2,051 (1,831)	0 (0)	20 (8)	2,079 (1,845)	90 (123)	859 (868)	11 (14)
	小計	503 (480)	471 (385)	24,039 (23,425)	14 (13)	490 (362)	25,014 (24,185)	49.7 (50.3)	2,641 (2,631)	
兵庫県子どもの冒険ひろば	仁川㊧	20 (19)	15 (16)	670 (712)	0 (1)	16 (19)	701 (748)	35 (39)	621 (638)	5.6 (6.2)
市制70周年補助事業	仁川㊨	- (12)	- (13)	- (455)	- (1)	- (13)	- (482)	- (40)	- (638)	- (6.3)
自主事業	仁川㊩	6 (5)	5 (3)	122 (138)	0 (0)	5 (4)	132 (145)	22 (29)	621 (638)	3.5 (4.5)
仁川合計(㊦+㊧+㊨+㊩)		226 (232)	125 (227)	10,998 (11,806)	6 (12)	145 (200)	11,274 (12,245)	49.9 (52.8)	621 (638)	8.0 (8.3)
合計		529 (516)	491 (417)	24,831 (24,730)	14 (15)	511 (398)	25,847 (25,560)	48.9 (49.5)		



- ・毎回、放課後遊ぼう会所属のプレイリーダーを2、3人ずつ配置し、安全管理等を担当しました。
- ・登録ボランティア（校区外のボランティアであるサポーターを含む）は全校区で299人、ボランティアの延べ参加者数は1,065人でした。

## （2）市内の放課後子ども教室への支援

例年、宝塚市「放課後の子どもの居場所づくり地域スタッフ支援事業」として、市内の放課後遊ぼう会型以外の放課後子ども教室にプレイリーダーを派遣し、開催を手伝ったりカプラ大会を開催したりして各校区の実行委員会を支援しています。

コロナ禍以降、放課後子ども教室を再開できていない校区や開催回数の少ない校区があるため、プレイリーダーを派遣して支援をする機会が減っていますが、2025年度は開設校2校の開催を支援しました。休止校1校で予定していたカプラ大会は、インフルエンザの流行により中止になりました。

支援内容	支援校数	延べ支援回数	支援したスタッフの延べ人数	参加者数		
				児童	その他	合計
開設校支援	2	2	23	178	4	182



## 2 子どもの育成に係る啓発事業

### （1）遊びの重要性などをお便りで啓発しました

6小学校において、毎月、小学校と幼稚園の保護者向けに発行しているお便りに、その月の開催予定とともに、遊びの重要性や遊び場づくりの意義、自分の身を守るための注意点、大人の役割などを伝えるための啓発文を載せました。発行月と啓発タイトルは以下のとおりです。

お便り発行月	啓発文タイトル
6月・7月	熱中症を予防しよう！
9月	遊びの三問 「やりたいことがない」子どもたち
10月	子どもの体力がおかしい？ ～外遊びの価値～
11月	子どもの遊びについて考える 一遊びが育むものへのまなざしをー
12月	首まわりにご注意！ 遊び場における2つの危険
1月	ケガをふせごう！
2月	集団遊びの「ストレス」で成長！

### 子どもの遊びについて考える 一遊びが育むものへのまなざしをー

今年2月に開催した放課後子ども教室啓発セミナーで、代田 盛一郎 氏（大阪健康福祉短期大学教授）にご講演いただいた内容をご紹介します。



「遊び」は、やりたいと思った人は誰でもいつでもやってよい「子どもの権利」ですが、子どもの遊びは受難が続いています。コロナ禍では制約と制限があり、ようやく遊べるようになったら、今度は暑すぎて外で遊べなくなりました。遊ぶ場そのものが減り、公園で遊んでいると苦情が来るという時代が続き、子どもたちは聞いても無駄なので「やっていい？」「やりたい」と言わなくなりました。使わないものは衰えていきます。「やってみたい！」という感覚が鈍っていないでしょうか？

子どもが最も発達するのは「遊んでいるとき」です。力をつける経験で特に有意義が出るのが幼児期と小学生時代です。脳がポジティブな感情に支配されているときに、経験したり体験したりすることで、子どもたちがぐっと育ちます。やりたいことをやって楽しかった！嬉しかった！という経験を積み重ね、またやろう！と積み重ねていくことが、大きく育つのに大事なのです。



今、子どもたちの遊ぶ約束は「遊ぼう」ではなく「遊べる？」になっていて、完全個別予約制です。新しいものにチャレンジしたり、寄り道をしたりする余裕もありません。1990年代から社会性が落ちてきていると言われていますが、人と関わりたい、人と関わってよかった、と感じる体験でしか社会性を積み上げていくことはできません。

「遊び」は人と繋がっていくきっかけになります。一緒に遊ぶと楽しい気持ちが外に表れて笑顔になり、一緒に遊んでいる者同士で共有され、それが仲良くなるきっかけになります。それが積み重なって人間関係が広がり、揉め事も含めて体験していき、人との付き合い方を少しずつ体得していきます。そして、他者との共通性と自身の個性に気付いていきます。

折れても回復していく力（＝レジリエンス）も必要ですが、遊びは失敗しても「もう1回」がきます。成功や失敗の経験を積み重ね、失敗しても立ち直ることを遊びで体験します。折れても捨てるにはもったいないくらい楽しそうな遊び、「あんなふうになってみたいな」という憧れの存在、あの人と遊びたいと思えるポジティブな場と出会い、そして少し背中を押してくれる大人のいる遊び場があると、子どもたちは折れても立ち直り、成長していけるのです。



## (2) ホームページを毎月更新し、開催中の様子を紹介しました

### 2025年6月 お便りから

#### プレイリーダーより

5月の遊ぼう会では1年生の参加が増えました。子どもたちは学年はスコップで穴を掘ったり大きな山を作ったりしています。スコップをつけているのですが、先日、1本紛失してしまいました。掘った子が見つけてくれました。ありがとう！  
6月も遊ぼう会で元気いっぱい遊びましょう！



### 2025年夏休み お便りから

#### プレイリーダーより

7月は暑さのため、ほとんど室内で過ごしました。個人懇談日は参加者が多く、宿題をする場所が足りないほどでした。宿題をする場所がない時は机が空くまで待ってくださいね。室内ではカプラで大掛かりな作品を協力して作っていましたね。外で遊べないと残念そうですが、友達と一緒に宿題をしたり、おしゃべりしたりするのも楽しそうです。部屋の中で走ると危ないので、走らないでね。夕方から涼くなったときは外に出て水風船で遊びました。開催途中で雷鳴が聞こえたため、早めに終了した日もありました。  
夏休み中はいつもとは違う遊びができます。お茶をたっぷり持って、帽子をかぶって遊びに来てくださいね。



## 4 子どもの育成に係る調査事業

### (1) 遊ぼう会開催校における危険箇所を定期的に調査しました

遊具の破損や腐食、つまずきの原因となる箇所、体は抜けるが頭部は抜けない危険な幅の隙間など、ケガや事故の原因となる危険箇所を定期的に調査し、各校に報告しました。

## 5 事業実施体制

### (1) 運営委員会開催

回数・時間：毎月1回（8月を除く）、10時～11時30分に合計11回開催

場 所：くらんど人権文化センター

参加者：6校区の代表者、チーフプレイリーダー、役員、延べ84人

内 容：安全管理につき共有、情報交換、開催内容・広報紙等につき検討

### (2) プレイリーダー会開催

回数・時間：月1回、10時～12時30分に合計11回開催

場 所：くらんど人権文化センター、西公民館

参加者：プレイリーダー、理事長、延べ99人

内 容：各校の情報交換、ハザードの確認、事前点検、応急手当、三角巾の使い方、骨折対応、頭部のケガ対応、熱中症対策、ノロウイルス対策、不審者対応

※プレイリーダーは別に、消防署において救急救命講習受講（2年に1回）

### (3) すり合わせ開催・出席

開催校：6小学校

参加者：各校担当のプレイリーダー、理事長、実行委員、延べ56人

回 数：各校1回ずつ、合計6回

内 容：学校、育成会、放課後遊ぼう会のそれぞれのルールの確認、ケガ対応・緊急時対応の確認など

### (4) 実行委員会主催の定例会出席

開催校：仁川小学校

参加者：プレイリーダー、理事長、仁川小 PTA 放課後遊ぼう部員、延べ49人

回 数：11回

内 容：当月の開催中の様子につき情報共有、ボランティアの確保や開催内容についての相談等

# 2025年度 活動計算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

特定非営利活動法人 放課後遊ぼう会

科目・摘要	金額(単位:円)	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	104,000	
賛助会員受取会費	81,000	185,000
2 受取寄付金		
受取寄付金		4,601,059
3 受取補助金		
子どもの冒険ひろば補助事業		171,000
4 受取委託金		
放課後の子どもの居場所づくり地域スタッフ支援事業		3,527,000
5 事業収益		
遊び場づくり事業	0	
居場所づくり事業	0	
子どもの育成に係る人材育成事業	0	
子どもの育成に係る啓発事業	0	
子どもの育成に係る調査事業	0	0
6 その他収益		
受取利息	6,178	
雑収益	7,210	13,388
経常収益計		
		8,497,447
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
役員報酬	301,996	
給料手当	7,299,433	
法定福利費	48,316	
福利厚生費	11,128	
通勤手当	242,246	
人件費計	7,903,119	
(2) その他経費		
旅費交通費	4,294	
消耗品費	14,081	
印刷費	56,594	
通信費	86,502	
会議費	9,016	
水道光熱費	98,146	
地代家賃	439,200	
保険料	43,525	
租税公課	2,000	
雑費	2,573	
その他経費計	755,931	
事業費計		8,659,050

2 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	58,004		
給料手当	762,713		
法定福利費	4,488		
福利厚生費	1,034		
通勤手当	26,593		
人件費計	852,832		
(2) その他経費			
消耗品費	65		
印刷費	5,257		
通信費	8,036		
会議費	534		
水道光熱費	9,118		
地代家賃	40,800		
保険料	2,805		
雑費	420		
その他経費計	67,035		
管理費計		919,867	
経常費用計			9,578,917
当期経常増減額			▲ 1,081,470
Ⅲ 経常外収益			0
Ⅳ 経常外費用			0
当期正味財産増減額			▲ 1,081,470
前期繰越正味財産額			5,001,569
次期繰越正味財産額			3,920,099

# 2025年度 貸借対照表

2026年3月31日現在

特定非営利活動法人 放課後遊ぼう会

科目	金額(単位:円)		
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預貯金	2,954,166		
遊び場づくり事業特定資産	1,000,000		
未収金	71,000		
流動資産合計		4,025,166	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
工具器具備品	1		
固定資産合計		1	
資産合計			4,025,167
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
預り金	105,068		
流動負債合計		105,068	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			105,068
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		5,001,569	
当期正味財産増減額		▲ 1,081,470	
正味財産合計			3,920,099
負債および正味財産合計			4,025,167

# 2025年度 財産目録

2026年3月31日現在

特定非営利活動法人 放課後遊ぼう会

科目・摘要		金額(単位:円)		
<b>I 資産の部</b>				
1 流動資産				
現金	現金手許有高	54,957		
普通預金	池田泉州銀行仁川支店	554,780		
普通預金	関西みらい銀行宝塚支店	1,403,161		
郵便振替貯金		941,268		
遊び場づくり事業特定資産				
	池田泉州銀行仁川支店(定期預金)	1,000,000		
未収金	子どもの冒険ひろば補助金	71,000		
流動資産合計			4,025,166	
2 固定資産				
(1)有形固定資産				
工具器具備品	コピー複合機	1		
固定資産合計			1	
資産合計				4,025,167
<b>II 負債の部</b>				
1 流動負債				
預り金	宝塚小実行委員会(開催費返金分)	76,320		
	源泉所得税	10,650		
	雇用保険料	18,098		
流動負債合計			105,068	
2 固定負債				
固定負債合計			0	
負債合計				105,068
正味財産				3,920,099

# 計算書類の注記

## 1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。
- (2) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

## 2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科目	遊び場づくり事業	居場所づくり事業	子どもの育成に係る人材育成事業	子どもの育成に係る啓発事業	子どもの育成に係る調査事業	事業部門計	管理運営部門	合計
I 経常収益								
1. 受取会費						0	185,000	185,000
2. 受取寄附金	3,851,059			50,000		3,901,059	700,000	4,601,059
3. 受取助成金						0		0
4. 受取補助金	171,000					171,000		171,000
5. 受取委託料	3,527,000					3,527,000		3,527,000
6. 事業収益						0		0
7. その他収益	6,000					6,000	7,388	13,388
経常収益計	7,555,059	0	0	50,000	0	7,605,059	892,388	8,497,447
II 経常費用								
(1) 人件費								
役員報酬	301,996					301,996	58,004	360,000
給料手当	7,251,993			47,440		7,299,433	762,713	8,062,146
法定福利費	48,316					48,316	4,488	52,804
福利厚生費	11,128					11,128	1,034	12,162
通勤手当	242,246					242,246	26,593	268,839
人件費計	7,855,679	0	0	47,440	0	7,903,119	852,832	8,755,951
(2) その他経費								
旅費交通費	4,294					4,294		4,294
消耗品費	14,081					14,081	65	14,146
印刷費	56,594					56,594	5,257	61,851
通信費	86,502					86,502	8,036	94,538
会議費	9,016					9,016	534	9,550
水道光熱費	98,146					98,146	9,118	107,264
地代家賃	439,200					439,200	40,800	480,000
保険料	43,525					43,525	2,805	46,330
租税公課	2,000					2,000		2,000
雑費	2,573					2,573	420	2,993
その他経費計	755,931	0	0	0	0	755,931	67,035	822,966
経常費用計	8,611,610	0	0	47,440	0	8,659,050	919,867	9,578,917
当期経常増減額	▲ 1,056,551	0	0	2,560	0	▲ 1,053,991	▲ 27,479	▲ 1,081,470

## 3. 使途等が制約された寄付金等の内訳

使途等が制約された寄付金等の内訳(正味財産の増減及び残高の状況)は以下の通りです。

当法人の正味財産は3,920,099円ですが、そのうち1,000,000円は下記のように使途が指定されています。

したがって使途が制約されていない正味財産は2,920,099円です。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
遊び場づくり事業 特定資産	2,400,000	0	1,400,000	1,000,000	受取寄付金のうち、使途を遊び場づくり事業に指定
合計	2,400,000	0	1,400,000	1,000,000	

## 4. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

内容	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産 工具器具備品	518,400	0	0	518,400	518,399	1
合計	518,400	0	0	518,400	518,399	1

## 5. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は、以下の通りです。

科目	計算書類に計上された金額	うち役員及び近親者との取引
(活動計算書) 受取寄付金	4,601,059	1,563,760
地代家賃	480,000	480,000

## 6. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

### ・ 事業費と管理費の按分方法

各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、通信費・水道光熱費・地代家賃・火災保険料については従事割合に基づき按分しています。